

御坊市文化賞 受賞者紹介

秘書室 ☎0738-23-5536

市では、文化の発展に貢献された方をたたえ、一層のご活躍を願って文化賞の贈呈を行っています。
今年は、柏木征夫氏と吉田擴氏が文化賞の栄に輝かれました。



かしわぎ いくお
柏木 征夫 氏

柏木氏は、平成4年6月に御坊市長に初当選し、令和2年6月の任期満了まで、連続7期28年の長きにわたり住民の信望を一身に集め、市長として確固たる政治信念をもって市政の発展に尽力された。

この間、御坊工業団地の造成・企業誘致や日高港湾の整備を国や県と連携して行い、また住宅団地の造成、湯浅御坊道路の建設にともなうアクセス道路の整備、市内幹線道路や農免道路の改良など安全性と利便性の向上を図り、中核都市としての基盤整備に尽力されるとともに、地域の特性や地域資源を生かした均衡ある発展をめざし産業や観光の振興に努め、市民の暮らしとまちの発展に寄与された。

また、御坊総合運動公園多目的グラウンド、市民憩いの広場、日高川ふれあい水辺公園など交流拠点施設の整備、湯川地区、名田地区における農業集落排水事業の実施や塩屋地区における公共下水道事業の着手、島団地

の建替事業、地籍調査事業の実施、御坊市新庁舎建設に向けた基本設計の策定など、便利で快適な暮らしができる環境づくりに尽力された。

また、公共施設や水道施設、橋りょう、ため池の耐震化や津波避難タワー建設などの防災・減災対策に取り組み、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与された。

そのほか、名田小学校や湯川中学校校舎の改築、教室の空調設備やパソコンの導入、学校給食を市内全域でスタートさせるなど学校教育環境を充実させ、毎年市民教養講座や各種成人講座、体験学習などを実施し、図書館や公民館機能の充実を図るなど、文化の向上や教養を高めるための支援に努められた。

また、柏木氏は御坊市外五ヶ町病院経営事務組合や御坊広域行政事務組合などの一部事務組合の管理者を務め、老朽化した日高総合病院や御坊広域清掃センターの改築、日高看護専門学校の開校など、広域行政の進展に寄与された。

このように、長年にわたり市政の発展と生活文化の振興に大きく貢献されました。



よしだ ひろむ
吉田 擴 氏

吉田氏は、昭和54年に御坊商工会議所議員に就任され、その後、常任議員、副会頭を歴任し、平成16年に会頭に就任され、令和元年10月の任期満了まで五期15年間務められ、地域の商工業の発展に貢献された。

御坊商工会議所会頭に就任以降、JAPANブランド育成支援事業や長年行われていなかった商工祭を復活させるなど、中心市街地商店街振興に努められた。

また、紀州材を活用した若手技術者の人材育成事業や日高港振興事業として中国大連市を中心とした物流調査やポートセールスを行い、「にっぽん丸」、「飛鳥Ⅱ」といった大型クルーズ客船の入港を実現させ、港の賑わいを創り出すとともに御坊・日高地方の観光誘客に大いに貢献された。

さらに、平成19年から本市で毎年開催されている「きのくにロボットフェスティバル」では、令和2年1月まで実行委員長を務め、全国規模の

大会に発展させた。そして、御坊市内の小学生を対象にした御坊市少年少女発明クラブ設立でも中心的役割を果たし、子どもたちの創造性開発育成にも尽力され、平成30年には全国発明表彰・発明奨励功労賞を受賞された。

また、宮子姫顕彰会を設立し、宮子姫時代行列を催したり、「宮子姫」を観光のシンボルにと、ゆるキャラ「みーやちゃん」などを製作。さらに、毎年開催されている住民参加によるイベント「みやこ姫よさこい祭り」の開催に尽力され地域活性化に貢献された。

そのほか、1964年の東京オリンピック誘致に貢献した御坊市名誉市民第1号の和田勇氏の功績を称え、「和田勇顕彰会」を設立され、顕彰事業に積極的に取り組まれた。また情報発信拠点として商店街に御坊寺内町会館を開設し、祭礼道具の展示や和田勇コーナーを設置するなど、地域の魅力発信に寄与された。

このように、地域商工業の発展および地域振興など幅広い分野で大きく貢献されました。